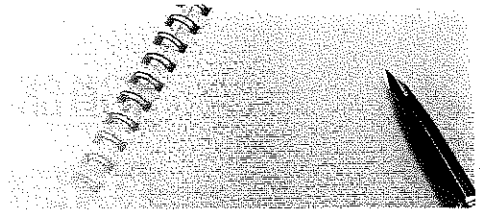


校長のひとり言



アルバイト

4月19日(日)午前十時から、多くのご来賓の皆様をお招きし、平成27年度入学式を挙行了。当日は、春の変わりやすい天候により雨模様となったが、保護者やご家族の皆様にお出かけいただき、門出を祝う良い式となった。

通信制課程で学ぶ多くの生徒には、仕事をしながら高校を卒業するという明確な目標がある。正社員として働き、その仕事に誇りを持ち、同僚と共働しながら会社や地域社会に貢献する。その中で、会社からは勤務年数や仕事量、成果、責任量等により給与や賞与が支給される。収入を得ることで家族を養う。あるいは自己の生活費に充てる。仕事と勉学の両立は大変だが、「焦らず・休まず・諦めず」で、卒業に向け取り組んで欲しい。

一方では、平日の登校がないため、その時間を使ってアルバイトを希望する生徒が多いのも事実である。定時制課程に所属する生徒たちも、授業の無い時間帯を利用してアルバイトをしている。今回はアルバイトについて考えてみたい。まずはいくつか、アルバイトに関するアンケート結果を拾ってみた。

「アンケート結果」

Q、アルバイトをする理由

- A、家計の一部にする。社会経験のため。(社会常識、上下関係)
欲しいものを購入する。(小遣い稼ぎ) 遊ぶお金が欲しいから。

Q、アルバイトを始めて変わったこと

- A、社会勉強して人として一回り大きくなった。(礼儀作法、敬語力)
自分の好きなものを購入できるようになった。(自由に使えるお金の獲得)

Q、アルバイト経験で学ぶこと

- A、新しい社会との出会いがある。(同僚、上司、お客様) お金の大切さを確認できる。

Q、高校生のアルバイトを禁止されている理由(本校は届出により許可している)

- A、勉強の邪魔になってしまう。(テスト期間中もアルバイトを休ませてもらえない)
犯罪に巻き込まれる可能性が高まる。(夜の帰りが遅くなる)

Q、アルバイトのデメリット

- A、自由な時間が無くなった。疲れて学校に行くのが辛くなった。

アルバイトの魅力はいろいろとありそうだ。しかし、自分のライフスタイルや立場により、さまざまな影響はある。例えば、アルバイトと学校の優先順位が間違ってくると、学校生活に支障をきたし、継続が困難なる。特に定時制課程の生徒に大切にして欲しいことは、むやみにアルバイトをすることは避けること。けっしてアルバイトを否定しているのではない。明確な目的と達成しようとする努力は素晴らしいことであり必要と考える。願うことは、学校生活(優先順位)を踏まえ、内容と量を考えてアルバイトに臨んで欲しい。